

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)池田市立新学校給食センター	階数	地上2F
建設地	池田市東山町	構造	S造
用途地域	市街化調整区域、宅地造成等規制	平均居住人員	76人
地域区分	6地域	年間使用時間	1,850時間/年(想定値)
建物用途	事務所、工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2020年3月 予定	評価の実施日	2019年3月8日
敷地面積	13,995 m <sup>2</sup>	作成者	(株)小河建築設計事務所 木村厚夫
建築面積	3,813 m <sup>2</sup>	確認日	2019年3月8日
延床面積	4,843 m <sup>2</sup>	確認者	(株)小河建築設計事務所 木村厚夫



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 0.7** ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです。

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q 環境品質** Qのスコア = 2.6

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.5

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.2

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.2

**LR 環境負荷低減性** LRのスコア = 2.8

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 2.7

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.7

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.0

3 設計上の配慮事項		
<b>総合</b> 本計画は、省エネ性能に対する配慮、及び維持管理、更新に関する配慮を重点において計画を行った。		<b>その他</b> 太陽光発電設備を設置
<b>Q1 室内環境</b> 事務所部分の自然換気口を1/15以上確保した。	<b>Q2 サービス性能</b> 建築基準法のx1.25の耐力で設計した。 耐用年数60年の押出成形セメント板を外壁に採用した。	<b>Q3 室外環境(敷地内)</b> 特になし
<b>LR1 エネルギー</b> [BPI]m=0.9未満を実現した。	<b>LR2 資源・マテリアル</b> 節水型トイレを使用 構造躯体が鉄骨であり、下地がLGSで仕上はボード類が過半以上となっている。	<b>LR3 敷地外環境</b> ライフサイクルCO <sub>2</sub> を95%まで削減

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

# 大阪府建築物環境配慮評価システム2018年版 大阪府の重点評価(結果)

受付番号

H31-0003

Osakafu-新築・既存 2018V1.0

【建物概要】	建物名称	(仮称)池田市立新学校給食センター整備事業に伴う建設工事
--------	------	------------------------------

	建設地	池田市東山町
--	-----	--------

	用途/区分	工場 事務所
--	-------	--------

【評価結果】	CASBEE 総合評価		B-
--------	----------------	--	----

①	CO2削減		3
---	-------	--	---

②	みどり・ヒート アイランド対策		2
---	--------------------	--	---

③	建物の断熱性		5
---	--------	--	---

④	エネルギー削減		2
---	---------	--	---

⑤	自然エネルギー直接利用		—
---	-------------	--	---

再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	○	風力	—	地熱	—	—
	太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—	—

	エネルギー消費量の報告	報告しない
--	-------------	-------

## 【評価項目】

項目	評価内容	スコア	評価
① CO2削減	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価	3.1	3
② みどり・ヒートアイランド対策			
生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価	1.0	2
敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価	2.0	
温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価	3.0	
③ 建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価	4.7	5
④ 設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価	2.4	2
⑤ 自然エネルギー利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価	3.0	—
エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。	報告する 報告しない	報告しない

## その他

	技術の名称	考慮事項
先進的技術の導入		
特に配慮した事項		